



●この「クイックスタートガイド」では、プロジェクタ(本機)の基本的な操作方法をパソコ ンとの接続を例にして説明しています。詳しい説明は、User's Manual CD-ROM内の 「取扱説明書」をご覧ください。

●本機を使用する前に、「補足説明書」の冒頭に記載している"安全上の注意事項"を必ずお 読みください。

(※VT580J/VT480J/VT48Jは、日本国内向けモデルです)







●ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合

ノートパソコンの外部出力 (モニタ出力) 設定を外部に切り替えてください。 ・Windowsの場合はファンクションキーを使います。 [Fn] キーを押したまま (_//回) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファ ンクションキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクタが認識する時間)

すると投写されます。

参考

【パソコンメーカとキー操作の例】

(Fn) + (F3)	NEC、Panasonic、Gateway、SOTEC
(Fn) + (F4)	HP
(Fn) + (F5)	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
(Fn) + (F7)	SONY、IBM、HITACHI
(Fn) + (F8)	DELL、EPSON
(Fn) + (F10)	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

●画面の端が切れている場合

パソコンの画面を投写したときに、画面の端が切れていたり、映りが悪いときは、 (AUTO ADJ)ボタンを押して自動調整を行ってください。



【映りが悪い画面例】





【自動調整後の画面例】

投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズームレバー(ズームボタン)、フォーカスリングを操作して、 投写画面の位置や大きさを調整します。

投写角度(投写画面の高低)の調整【チルトフット】

● 本機の前部を持ち上げます。

2 チルトボタンを押します。



▲ 排気口の熱風にご注意ください。

3 チルトボタンを押したまま、本機の 投写角度を調整します。

 角度を固定したいところでチルト ボタンから指を離します。

投写画面の左右の傾き調整【リアフット】

投写画面の左右が傾いている場合は、リアフットを回して微調整します。



【投写画面の大きさの微調整【ズームレバー/ズームボタン】】

(適応機種) VT580J/VT480J) ズームレバーを左右に動かして、 投写画面の大きさを調整します。

(適応機種) VT48J) ズームボタンを押して、投写画面

の大きさを調整します。



フォーカスリング

T . (1

 \bigcirc

C.

| 投写画面のフォーカス調整【フォーカスリング】)



台形歪みを調整する【台形補正】

↑ オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(SELECT ▼/▲)ボタンを押すと、調整バーが表示されます。

 SELECT ▼/▲) ボタンを押して、台形歪 みを調整します。
調整後しばらくすると、調整バーが 消えます。

参老

VT580Jでは台形歪みを自動で調整することもできます(自動台形補正)。

